

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・部門ごとに若干のバラつきもあり、売上高は依然として前年割れの推移ながら、主力である衣料品などの動向にマイナス幅の縮小が見られる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月は、3か月前と比べると、客室稼働率の前年比の数値が上回ってきており、販売量としては良い方向に向かっている。
		旅行代理店（代表取締役）	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは日数が長いものの、安・近・短の旅行が増えている。海外もアジア方面は好調だが、タイの政情不安、ヨーロッパの火山噴火などで多少、影響は出ている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・販売量が前年を上回っている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・4月は、例年なら春休み終了後は販売量が減っていくが、今年はその傾向が見られず好調を維持したままで前年の販売量も上回っている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・引き続き販売量が好調である。
	変わらない	スーパー（企画担当）	単価の動き	・1点単価が前年を下回る傾向が前年末より続いており、買上点数は比較的健闘するが、1点単価下落の影響が大きく売上が伸び悩んでいる。
		スーパー（販売企画担当）	来客数の動き	・特売時に来客数は増えるものの、後日に反動があり、累計ではマイナスとなる。買上点数も多くなり、客の財布のひもはまだまだ固いと言える。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年と比較して来客数が14%減少しており、売上が落ちたままである。
コンビニ（経営者）		単価の動き	・3か月前と変わらない状況である。ただ、最近セールやイベントの効果が、若干上がってきている感もある。	
コンビニ（エリア担当）		単価の動き	・ラーメンや菓子類の売上低下により、前年並みで推移していた客単価が、1%減少している。	
その他専門店〔書籍〕（店長）		販売量の動き	・低調な動きは変わらない。例年、新学期が始まるこの時期に動きの良いノート、ファイル関係の動きが今年は悪く、参考書等の動きも悪い。また新社会人向けのビジネス本についても動きが芳しくない。	
観光型ホテル（総支配人）		来客数の動き	・宿泊人数は3か月前比101.1%とほぼ横ばいで、前年比は85.4%と大幅に減少している。総売上については3か月前比が94.3%、前年比が87.2%である。年度末の一時的な需要はあったが、新年度に入り低迷している。価格訴求での集客にも限界がきた感がある。何よりも景気回復が望まれる。	
観光名所（職員）		来客数の動き	・施設利用者数は、前年同月比で9割台である。前年度も更にその前年との比較で減少した年であり、沖縄観光は厳しい状況にある。来園者は修学旅行、一般団体、家族連れ等が中心である。	
やや悪くなっている	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	単価の動き	・観光客のレンタカー利用は、前年同期を上回ったものの、稼働単価が下がっており、決して良い状況ではない。安価な旅行商品しか売れていない現状だと推測される。	
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・3月のエコポイント制度変更に伴う駆け込み需要の反動がいつごろ収まるか分からない。	
	その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・部署や商品によっては前年並みだが、価格は競争で安くなっているので利益率がかなり下がっている。	
悪くなっている	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・4月の連休前の平日は例年かなり入客が落ちるため、イベントなどを徹底して来店を喚起しているが、それでも例年の90%台にとどまっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・リフォームの契約件数が増加している。

変わらない	輸送業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・物流に関する案件数自体は減っていないが、客は、当然ながら現在取引している物流会社よりさらに安いコストを望んでいる。そのため、物流会社は単純に利益を削ってのし烈な価格競争になり、同業者間でお互いの首を絞めあつ状況になっている。	
	輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・公共工事を中心に好調を維持している離島地域が複数ある外に、上向きつつある地域も出てきている。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注案件については、前月と変わらず、件数が少ない。	
	会計事務所（所長）	取引先の様子	・緊急保証制度の影響か、資金繰り等でやや持ち直しの傾向が見受けられる。	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として工事物件が減少するなか、年度初めの月でもあり、工事着工が鈍く製品出荷が思うようにいかない。	
	コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年よりやや落ちている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数が前年同月比で、わずかながら増加傾向にある。ただし、まだまだ景気自体は悪い。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼は少しずつ増加しているが、医療関係のような特定業種が極めて多く、他はさほど大きな変化はない。特定業種の増加をもって、景気が良くなっているとは断定できない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者は5,885人で、前月比で18.8%、前年同月比で23.8%増加している。また、事業主都合離職者が増加している。
	悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-